



子どもに愛されたナチュラリスト
シートン
今泉吉晴 著 福音館書店

発行/富山市教育委員会生涯学習課
富山市PTA連絡協議会

編集/良書をすすめる会

低学年におすすめ

ついにぬけた歯、どうしよう

『歯がぬけた』

中川 ひろたか 作

ごはんを食べていたら、ぐらぐらしていた歯がぬけた。みんなもけいけんあるよね。ぬけた歯をどうするか、いいアイデアがうかんだよ。

(PHP 研究所 本体1,100円)



おなかいっぱいいの幸せ

『ゼラルダと人喰い鬼』

トニー・ウンゲラー 作

たむらりゆういち／あそつくみ 訳
子どもを食べるのが大好きな鬼と料理が大得意なゼラルダ。自分をねらった鬼とも知らず、おいしい料理をごちそうしちゃった。さて、それからゼラルダは……。

(評論社 本体1,300円)



バナナの本が絵本になった

『ミラクルバナナ』

ジョルジュキヤヌト／ロイヤル・サン・エロワ 作

あまくておいしいバナナ。そのバナナがなる木には、ふしぎで、すてきなひみつがあるよ。バナナの好きな人もそうじゃない人も読んだら楽しくなる本。

(学研 本体1,200円)



こんなプレゼントもらってみたい

『ふしぎなおたまじゃくし』

ステイブ・ケロツク 作

すずき まさこ 訳
ルイスのおたんじょう日に、毎年プレゼントをくれるマカリスターおじさん。今回は、なぞのおたまじゃくし。さてさて、だんだん大きくなってきたぞ。

(锚といるか社 本体1,600円)



知っている？知らない？

『落語絵本 じゅげむのぞ』

川端 誠 作

どこかで一度は耳にしたことがある「じゅげむ、じゅげむ……」これは一体おまじないの言葉なのかそれとも、お坊さんのお経なの？じゅげむのひみつがここに。

(クレヨンハウス 本体1,200円)



ちょいと頭をつかっただけ

『せかい1おいしいスープ』

マーシャ・ブラウン 作

わたなべ しげお 訳
通りがかりの村で、食べ物をわけてもらおうとした、はらペコの三人の兵たい。村の人たちは、食料は何もないそぶりをするけれど、実は、かくしていたのです。

(ペンギン社 本体1,230円)



高学年におすすめ



はるかなるラップランド
 『マリット・インガの一年』
 『ゆきとトナカイのうた』
 ボテイル・ハグブリック作・絵
 山内 清子 訳
 広大な雪原をトナカイとともに移動してくらすサーメの人々。きびしい自然の中で、伝統を守って生きる人々の生活が、いきいきと描かれた美しい絵本。
 (ポプラ社 本体1,300円)



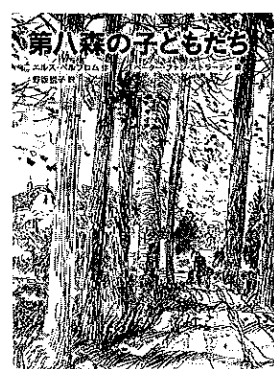
ハオとハオオ、二人は友だち
 『町かどのジム』
 エリノア・フアージョン 文
 松岡 享子 訳
 とおい昔、船乗りだったジムが語ってくれた、信じられない(?)ほど楽しい体験談。そんなジムの八十才の誕生日に、ハオのデリーが用意したプレゼントは……。
 (童話館出版 本体1,400円)



六年一組はパニック教室!
 『12歳たちの伝説』I~IV
 後藤 竜二 作
 始業式の朝、でかいゴリラのぬいぐるみと教室に入ってきた小さな先生。先生のペースにとまどいながらも、子どもたちの心の中で、何かが少しずつ動きだしていく。
 (新日本出版社 本体1,500円)



ジャーナリストの条件は?
 『こちらランドリー新聞編集部』
 アンドリュウ・クレメンツ 作
 田中 奈津子 訳
 カーラがつくった学級新聞をめぐる騒動から、勇気と元気を手に入れていく先生と子どもたち。'真実'と思いやり'がモットーの'ランドリー新聞'を読んでみて。
 (講談社 本体1,500円)



知らない時代があった
 『第八森の子どもたち』
 エルス・ベルフロム 作
 野坂 悦子 訳
 第二次世界大戦末期のオランダ。ノーチエとお父さんは、町から追われ、森にかこまれた農家クラツプヘクにたどりつく。そこで出会った人々との毎日は……。
 (福音館書店 本体1,700円)

中学年におすすめ



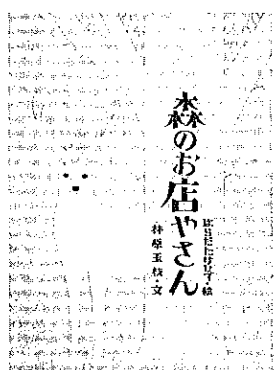
毎日しかられてばかりだった
 『スープ』
 ロバート・ニユートン・ベック 作
 久米 穰 訳
 九歳のロバートの大親友スープは、いたずらの天才。スープのいたずらに、ロバートは必ず巻き込まれてしまう。おかげでいつも大混乱。
 (金の星社 本体1,300円)



きっと海に帰してあげるよ
 『ぼくのクジラ』
 キヤサリン・スコウルズ 作
 百々 佑利子 訳
 嵐の翌朝、サムは浜辺で弱っているクジラを見つけた。犬に助けを呼びに行かせるが、そこへクジラの歯をねらう漁師の兄弟が来てしまった!
 (文研出版 本体1,200円)



たんぼぼのようなクラスにしようよ
 『たんぼぼ先生あのおね』
 宮川 ひろ作
 教室をぬけ出す友だちがいても無関心な三年一組のみんな。そこでたんぼぼ先生から変わった宿題が出された。
 (ポプラ社 本体980円)



何を売ってるお店だと思っ?
 『森のお店屋さん』
 林原 玉枝 作
 森の仲間たちがすてきなお店を開きました。はりねずみの'ほけつ'や'もぐらの'おやおや'。三年生の教科書にのっているきつぎの'おとや'もあるよ。
 (アリス館 本体1,300円)



見た目はそっくり、でも
 『ふたごのルビーとカーネット』
 ジャクリン・ウィルソン 作
 小竹 由美子 訳
 行動的なルビーとおとなしいカーネット。ルビーの夢は、二人そろうって女優になること。でもカーネットの本当の気持ちは?
 (偕成社 本体1,200円)

ぼくの隣を走るのは……

『ジェイミーが消えた庭』

キース・グレイ作

野沢 佳織訳

いつも一緒に真夜中の庭を駆け抜けた親友ジェイミー。友を失った想いに決着をつけるために、ぼくはもう一度あのコースに挑む。

(徳間書店 本体1,400円)



本当の幸福ってなんだろっ？

『奇跡の子』

ティック・キンググリスミス作

さくま ゆみこ訳

親に捨てられ重い障害を持つスバイター。豊かな自然の中で、やさしい養父母や周囲の人々にさええられ、農場の仕事に特技を見出す。人間の幸せを問う一冊。

(講談社 本体1,500円)



オオカミと呼ばれる者たち

『辺境のオオカミ』

ローズマリ・サトクリフ作

猪熊 葉子訳

左遷により辺境の地に配属されたローマ軍の青年指揮官。プリテンの氏族との友情と憎悪、部下たちとの出会いと別れを経験し、彼は、真のリーダーになっていく。

(岩波書店 本体2,700円)



邪悪な独裁者が現われた

『預言の子ラノッホ』

デイヴィッド・クレメント・レイヴィズ作

多賀 京子訳

はるか昔、鹿の王が治める地で預言の王の印を持つ子鹿ラノッホが生まれた。彼は運命に立ち向かいながら、自分たちの国を取り戻す戦いに挑んでいく。

(徳間書店 本体3,000円)



心の傷はいつかは癒える

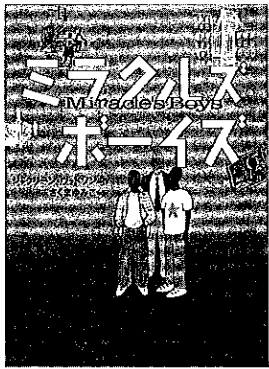
『ミラクルズボーイズ』

ジャクリン・ウッドソン作

さくま ゆみこ訳

両親を次々と亡くした三兄弟の悪戦苦闘。働き者の長男、くれた次男、心優しい末っ子。困難を乗り越えて、家族の絆を再び結び直していく姿を描く。

(理論社 本体1,500円)



顔の向こうに本当のおれが見える

『フェイス』

ベンジャミン・セファニア作

金原 瑞人訳

好奇心と成行きで知人の車に乗り、交通事故に遭ったマーティンは、顔に大火傷を負ってしまふ。彼が偏見・好奇・戸惑いの目に傷つきながら得たものは……。

(講談社 本体1,000円)



人間としての尊厳

『彼の手は語りつく』

パトリシア・ポラッコ作

千葉 茂樹訳

南北戦争のさなか、戦いを逃げて出した白人少年は、奴隷でありながら白人軍で戦いぬこうとする黒人少年に出会う。自分の本当の主人は自分自身だと二人は語りあう。

(あすなろ書房 本体1,600円)



歴史が大きくうねるとき

『ベルリン1933』

クラウス・コルドン作

酒寄 進一訳

ナチスが台頭するベルリン。しかし、みんながナチスを支持していたわけではなかった。時代の波にまきこまれた貧しい一家を通して、当時のドイツを描く。

(理論社 本体2,400円)



良書をすすめる会では…

富山市PTA連絡協議会「良書をすすめる会」は、現在36人のメンバーが、平成9年より子どもたちに手渡したい本を楽しみながら読み合っています。

子どもの心と言葉を耕し、想像力を育む、そんな本を近刊書の中から学年ごとに選び、紹介しています。このリーフレットを家庭や学校でご活用下されれば幸いです。ここに紹介した本は富山市立図書館中央館・分館、富山県立図書館で借りることができます。



虫めがねをもって出かけてみよう

『ドクトル・ムッシーの
昆虫おもしろふしぎ探検記』

矢島 稔文

テントウムシと遊べるのを知っていた？ 身近な昆虫のおもしろい生活がいつぱい出ていて、この本を読んだら、昆虫博士になった気分になれるよ。

(小学館 本体1,200円)



どうぐがいっぱい

『どうぐ』

加古 里子ぶん・え

家の中や外を見回すと、びっくりするほど、どうぐがいっぱい。大きくて便利な機械も、小さなねじやばねの組み合わせからできているんだよ。

(瑞雲舎 本体1,200円)



電車が好きな人、そうでない人にも

『機関車・電車の歴史』

山本 忠敬著

世界中の機関車・電車が、写真ではなく、すばらしいイラストで描かれている。子どもだけでなく、おとなもながめているだけで楽しくなる本。

(福音館書店 本体3,800円)



トリビマの種がいっぱい

『科学でゲーム・ためじつがた』

ウヰッキイコノキヤシーターリング共著

風船で蛍光灯を光らせる。石けんの固まりをむくむくとふくらませる。ためしてみたくなる、なんともふしぎな実験を数多く紹介。へえーっ。

(さえら書房 本体1,400円)



てごわいゴリラたち

『モモタロウが生まれた』

黒鳥 英俊著

百キロの体あたり、ミルクをはきかける、ウンコを投げる。これってゴリラのいやがらせ？…動物園の飼育係だからわかる、おちやめなゴリラの生活。

(フレーベル館 本体1,400円)



あなたをはじめませんが、缶飲料を減らすマクシオンを

『6000000000個の缶飲料』

今泉 みね子著

アルミ缶を作る時、ピンの17倍もの電気がいるのを知ってる？自分なんかだめだと思っていた子どもたちが、地球の環境のために缶を減らす方法を考えだした。

(合同出版 本体1,300円)



これぞシートン入門書

『子どもに愛されたナチュラリストシートン』

今泉 吉晴著

数多くの動物物語を書きあげたシートン。彼は、子どものような好奇心を持ち続け、生涯自然から学んだ。シートンが描いた絵にも注目！

(福音館書店 本体1,800円)



ジジババが伝えた村の宝物

『おばあちゃんは木になった』

大西 暢夫著

ダム建設で消えゆく村。沈むまで暮らしたいと戻ってきた年寄りたち。電気もガスもない村だけどここには神様がいる。ありのままの暮らしを記録した写真絵本。

(ポプラ社 本体1,300円)



良書をすすめる会

委員長	竹内 勤子 (新庄中)	委員	堀地はるみ (附属中)	委員	大門加奈子 (奥田中)	委員	稲場 博恵 (奥田北小)
副委員長	田中 美弥 (五番町小)		山口 恵子 (山室小)		長森 知子 (熊野小)		木下 文子 (附属小)
	堀 幸子 (東部中)		石川千佳子 (貝羽中OG)		松村 裕子 (愛宕小)		滝口 淳子 (光陽小)
会計	山崎 玲子 (桜谷小)		江藤 裕子 (山室中部小)		吉本 民子 (草島小)		寺松 香子 (附属小)
委員	石井 知子 (奥田中)		坂井 祐子 (清瀬小OG)		吉本 摩智子 (光陽小)		浜多 智子 (附属小)
	今村 小絵 (西部中)		竹森 圭子 (附属中)		川田 睦子 (附属中)		吉本 雅子 (安野屋小)
	金岡 宏美 (附属中)		松島 薫 (新庄小中)		高野 知代 (芝園中)		
	竹沢 知美 (山室OG)		山道 淳子 (燈川小)		中村 純子 (大泉中OG)	顧問	廣田 勉 (東部小)
	藤野 恵子 (南部中)		浅沼 智子 (南部中)		藤山 尚子 (新保小)	市P連会長	沖野 生子 (芝園中)
	舟本 こずえ (附属小)		今井 きぬえ (堀川南小)		松田 尚子 (桜谷小)	担当副会長	